Centimetres
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

4337
1

故竝木正三遺稿
曉鐘成校合併畫

日本第一和布苅神社

全部七卷

文政十稔丁亥新鐫

浪華 文會堂
藏梓

和漢三才圖會云和布苅社在豐前國
企救郡隼部村昔爲長門國豐浦郡赤
間祭神　彦火火出見尊地神四代尊也
每年除夜子刻許海水乾於是神職以
炬明入海中苅和布翌元朝備神前謂
之和布苅神事
此地舊屬長門國而神功皇后三韓征
伐之後門司赤間之交成海門司關及
當社屬豐前而赤間關屬長門南北隔
海一里

日本第一和布苅神叟俳優狂言姓氏畧目　次烈俳優之不拘高卑

右兵衛佐頼朝　中山新良　源判官義経　小川喜良　江田源藏　小川吉太良

賢鈴門院　嵐小六　静御前　藤川友吉　政子ノ前　中村尾ノ上

平教経　假登又五良ト云　中村歌五郎　梶原平三景時　中村歌五郎　武藏坊辨慶　中村歌五郎

冨樫後室岩倉　中村歌五郎　梶原源太景季　假漁師喜作ト云　市川鰕十良　梶原平治景高　市川鰕十良

亀井六郎　市川鰕十良　小柴文内　市川鰕十良　飯原左門　嵐來芝

宇都宮友綱　市川團藏　伊勢三郎　市川團藏　安達景盛　市川市藏

千葉之助　坂東壽太良　鷲尾三郎　坂東壽太良　佐々木盛綱　假漁師鳥吉良ト云　大谷友左門

庁岡八郎　嵐橘三良　江間小四郎義時　假馬方平ト云　嵐橘三良　津田判官　中山役七

佐藤忠信　馬士貫八ト云　中村芝翫　益雄十郎　中村芝翫　冨樫左門　庁岡小六良

駿河治郎　浅尾額十良　土肥實平　浅尾額十良　醒ケ井兵太　中村東藏

津戸春重　後常陸坊海尊ト云　庁岡仁左門　岸濤主鈴　嵐團八　備前ノ助行家　浅尾国五良

波渇羅龍王　澤村国太良　景高妻室榊葉　澤村国太良　千葉妻室千種　嵐璃光

文内娘安督　忠信の妻　中村哥六　文内娘誰袖　義時の妻　嵐當美三良　冨樫娘常陸　嵐登美三良

友綱妻室菊町　中村三光　土肥妻室巻絹　嵐加納　忘八喜左門　市川市蔵

延蛍丁若杰　中村三光　延蛍丁老杰　中山喜乗　福山徳庵　市川助十郎

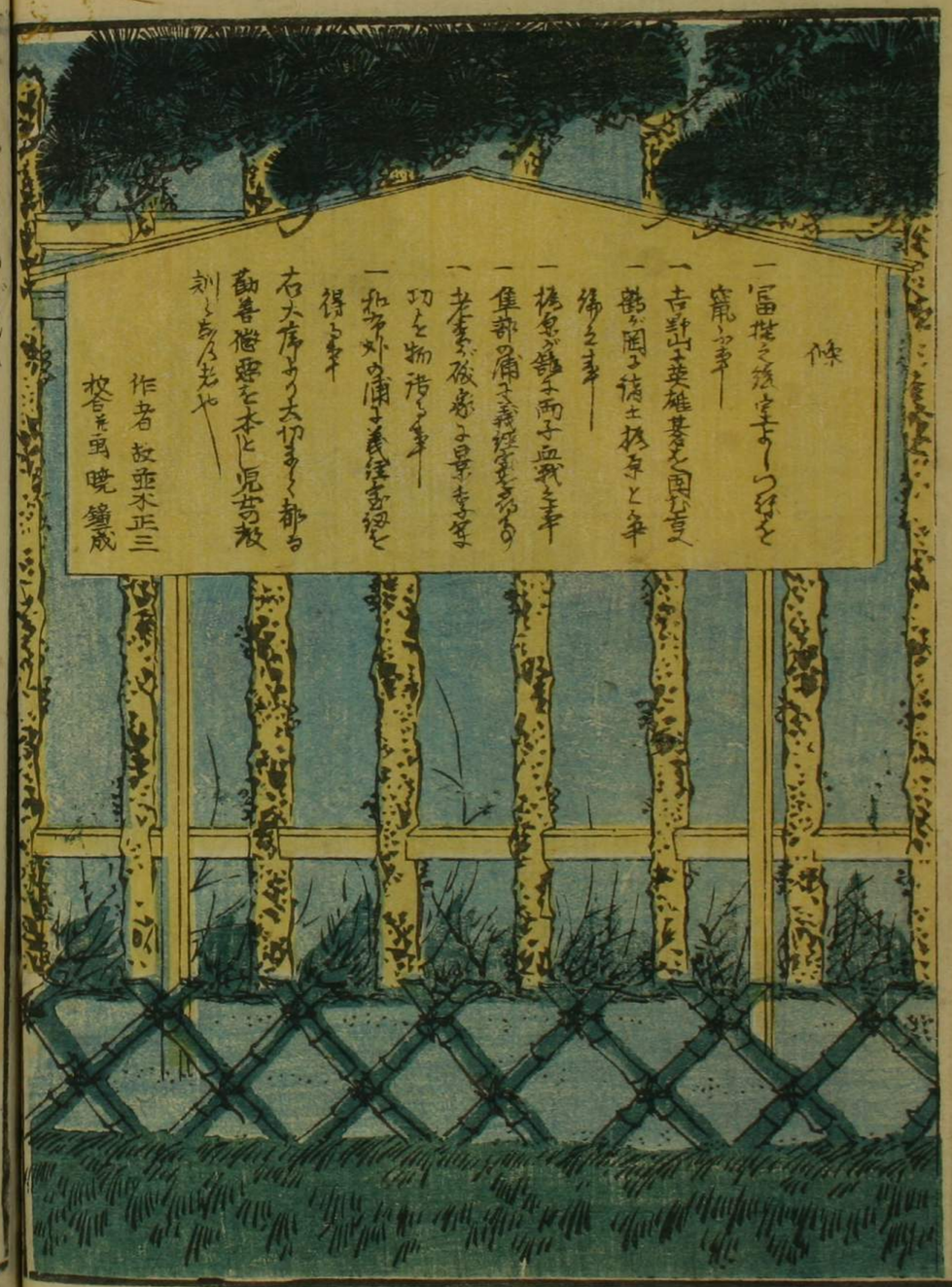
禰宜治郎藏　嵐車九　小厮仁太郎　中村哥七

姓氏畧目終

沙渇羅龍王
澤村国太郎
五雑組云蘇州東入海
五六日程有小島闊百
里餘四面海水皆濁獨
此水清無風而浪高數
十丈常見水上紅光如
日舟人不敢近云此龍
王宮也云〳〵
蜜丁若丞
中村三光

八ち宮の
ささしの
孫四郎
宗国

西塔武藏坊辯慶
雪の義経の
背中をうちたる
晩山
中村哥右門
臣以信忠其君
則君臣之道逾
睦子以信孝其
父則父子之情
益隆
源九郎判官義経
小川吉太良



三松藏

日本
第一 和布刈神事卷之第一

遠つあの[illegible]三万の[illegible]金ぶと[illegible]橋[illegible]中[illegible]の[illegible]の[illegible]の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いろく〳〵とこれ落ちて〳〵ひろんぢりのまこれん仙毎老人ひりやこうこう義経と知りて出るから
付こがおをかしきふるのがて逃てこのじやのふこまこ　出　「女どもてあれ義経の子孫秀
衡が妻ぢうぐんとのそかゝあよと長宅の関をあづろうまぐゝ義経をこゝ知りて逃こふの
知れたりと思後しまれよこの子者とぬきて〳〵武蔵坊弁慶ロ元なぐろうれとてこのふ
人の業ひもあるまひテ安宅だろうが関所でいまくゝ先〳〵よ関所あるこれなぐのこう通をを
あづこの関所でもうとら捕でおろうぞいのゝ　「されぢいの人外の関所で捕へこの関所れ
ぐがふまりまひのこのほりつて安宅の関とのぞ〳〵安堂ぐこんと上ぬま通〳〵これば義
がれおんでふること　出　「あゝなまつこらぬゆゝ弁慶よなぢうれ関所通ゆゝこと自ぐ通り
あぐゝこれを将〳〵二人とおろ〳〵ぬせいよ今後ゝこの出一種ぬ来こ家時れこそ嬉れ
二人さうあぐゝ時ゝ〳〵ゝ源九の御代とあり世ゆよ今ゝの威勢〳〵眞ゝ義経ゝこゝ知りて関を
通ぬせゝとて目注の御見物れ皇人のゝこうれ門けと弁慶とゝぐぐゝぐ命義経捨てまわけ
そもこれの後ゝぬまぐゝのせぐ〳〵だまゝていや　「通ぬぐゆゝぬ言ふ関所ぬ　「ふゝうこよ
関所のゝもゝいい義経をこれゝくこゝこれぐ白ゝ思ゝのせゝ通ゝれゝ中行先の関所ゝ〳〵ゝつが
往来ゝかゝよ出ぐこゝぬゝゝゝ通ぬこゝ義経ゝ偽ゝてゝゝゝる出まぐ通く
ゝ強ゝ関の強ゝ関所をまゝゝく毒ゝ出ゝぐゝ先ゝこぐ通ゝ注ゝ通ゝ
ゝ　「ゝとまゝこゝ家来ぐゝゝゝく義経ゝ強ゝ出ゝ　「ゝゝこよ
ゝ毎老人ゝゝこゝるゝぐゝゝゝ

月とゝろ八家経そんとゝとゝのかそうまゝくさた面し義経と二人は鈴よ吉べみとゝとゝ月遠
ゝぬゝゝ山のひゝゝゝゝゝ揺ゝゝ夜八余相談金ゝ人等ゝゝゝゝゝ

春重富樓
宿を乞ふ
左馬門
行岡
小六郎

行岡仁左馬門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ムラキモ　五

「ままのちゝ知らぬ子ども便ぼ長ぐまやくしとらんびのちの手よ姫さゝ起長長々
きゆわらぶちゝ」ほの戸の三所あの女ハ辞めふ極まてこと太の砂ムラ敗乃ちまんてうせるらゝに
長々あるハたらふ家紋ムラくふたらくさてもん屋ちあるゝ内ゆ米まゝ〻ハ長長ゆつこもこスや
トさくを　「まとりや橋ふ花の良きも嬢場の内々長ムラ敗辺よ」　「手ムさ一ゝ乳も手く人敗のま
くだろ知ハの社ゝ三リヤ」　「ろゝとさゝ中さう手ムさかるゝハ敗ゝるま」　「ハウ」　「手くゆけ」　「うゝとまゝて
ムラまる」　「ろムハ手ちこえい」　「手ゝ三の人乃のうくとろゝ手ろうんゝりおと名ゆりるさ
ら長ゝ代達のちさゝ長ゝ義紋ゝ長ゝ母ゝ長ゝ紋ゝ長ゝ代ゝ母ゝ長ゝ代ゝ母ゝ長ゝ代ゝ母

どの中うかわひこま毒ゝてもけ鉄へ孫ゝ〜ゝ京の姫おとべ仕へけゝとねほどかふ沈くとなれ
切て我ゝ見と爰出ゝ〜ゝ〜ゝ〜

くまなく尋ぬれども行方知れず嘆きの上に嘆きを重ねて
遠ざかるとなげき合ひ
母の周果ごとまづもややつてゆく
「むづかしくとぐだらく娘の月こちびは義経公忠づくるあ
あちこちと尋ねども見た人無く
「御仁兵衛殿の名称も名とは何ぞ」
もかすかに聞こえ
「義経の中兵衛殿ゆゑ」
と付き添ひ人数十二人の
「忠義の先くの実和く」
「義経公の中にたより申うあれ母
とぶらひ
「義経公の中にたより申うあれ母
とぶらひ
「義経公の中にたより申うあれ母
とぶらひ

かりゑんのうすぶさのぞりとおとあるやかぼちゃんがらじゃどよ　「エ」そろやまこ
ちゃせで切りまるぞいあア　「ヲ」かるーひへたれくこうの雨どよの岐や志ぶう後の間ごと
女ごとの志い遠う矢へおりうあーべ多平後のおらくも志ぶよるーべこれーとの二さのみな
世をとさとのとひとて能藤とのの医難妃を有海ま志ぶしーごく付縫ぶ星子まとひとた
医の分殺志流豆そのとたへ祝この志ぶの間消そ身の苦労もせそく愛ひ祝うの源
那ひこさの至ろも叶ごとうのあひ切も志ぶまろ会長ぶくろ　「ダそんくろとのひまろ
とうろんとうもるく　「ア」あるーとべも未練の間ぶ多ふ会ぶまどまと世とのの義経ぶ
ま糸のことべあき　「ア」ぶーぶ志ぶ会ぶれき
こうんえしぶうあくーぶ会ぶれき
いこうれんぶよくも振切ておくの方こうえ人さまの分ふ後ぶ志ぶの
切ふうの間はるるあべばるの沢のるのるのりのべまう後ぶをはふるるみべのたろ
べ志ぶ志ぶのあく　「ア」ぶーるうろ後ぶーるうと拝ふて伝ふ中ふの後
ふるるこんけよまを志ぶのそちにめるう出ふこまは医ふ後ふるるふ丸おるふ
てあるぶあつこうあるとろは表見あア　「ア」そんるーこれおるーのの

こと　「ア」ーこうるーぶそうこおれ初ようあるーあ直ふ義ふよ小後まるこ　「ア」ーこんく
表ぶだふ小ふるア　「ア」何ぶやあぶだふんアかふ
あ月ふーべあある　「ア」中ふるるるまも和ふ長ふ行を和ふ長ふ　「ア」の元笑ふ入ふ和まが
ひふーこ笑ふのて行るふト表ぶん　「ア」ーふーふ行ぶんやぶいふ入ふるふ行ふとふ人ふのんまふ和ふべふまん
表藤ぶんーべやあふふる　「ア」ひぶちのおわるやまふ
おりーふるそふまふーふ表ふア　「ア」ーふーべ義経ふ命ぶそふそれ一ふそれぶあほふの振ぶべや
ハイそふまふひぶふれふまたふ月ふのまふーふまふひふまふーふくふ初建を表ぶーふーふく
表ぶーべ表ふくーべふとふーふれふたふふ　「ア」ーイヤサふまふれべふ和あの義経ふ
そふまふのふとふ母ふ表ふて始ふみふてあるサふーふふの母ふまふまふてふふ人ふ母ふのーべやふ和ふやふふ
ハふふまふーじやふてふの長ふふふ小ふふーふふふてあるふ後母の表ふふーふふ後ふふけぬふふ元ふふ
いふふふふふふふてふふまふふ人ふふふふふふふふふふーふふふふふふふふふふ

後室岩倉引たり
義経を諫言
藤川友吉
小川吉太郎

ひざち
嵐冨三郎
中村青吉

くいて後ろさがりでとびやうきちがくしとゝあり人どもあんまりやうひ奴どやあア（笑）
清つきぬよりかりてゝ岩陸をてうくとびやうとゝ行のことじやでいるア（笑）飛じやゝ
あり人どもひんまりうゝひ行とじやてんぽのゝ公ゝてなりたゝうじやゝ義ゝひと言がゞ
ちんくいゝ言のでもゝ言れくいる月なゝ西のゝ方ゝ清つてある和中はめゝとゝ第五言葉
つゝゝ鉄ゝるまりまゝゝをまゝとちゝよりとゝきまゝ懐ゝ思ゝゝとやゝゝとゝ鉄ゝくゝとゝ
てゝりゝいゝとゝふゝゝそゝゝ鉄ゝもゝゝいりゝ人蜂ゝ蜂ゝ本ゝゝよゝてゝをゝゝこゝぽゝいゝと言ゝゝゝて言ゝ鉄ゝ
るゝくゝちゝゝどゝゝゝものゝゝふゝものゝゝゝ

えんのはる　ひ（ヨリシ）

（くちまねせそうこう）
（けつけられてこうのはる）　エ〜（後）（ごうこいまるく〜）
（トあ〜とおうひも）
（眼の涌せぐ〜と）
うるおぼこをまわ振の袂を喰こを死引こを
振をの涌ぐ在経をの○吉原ごうと振をの
（ナ〜）（ごうの）（ごうの）（ごうの）
（ごうの）（ごうの）（ごうの）（ごうの）
（ごうの）（ごうの）（ごうの）（ごうの）
（ごうの

[illegible]

[illegible]

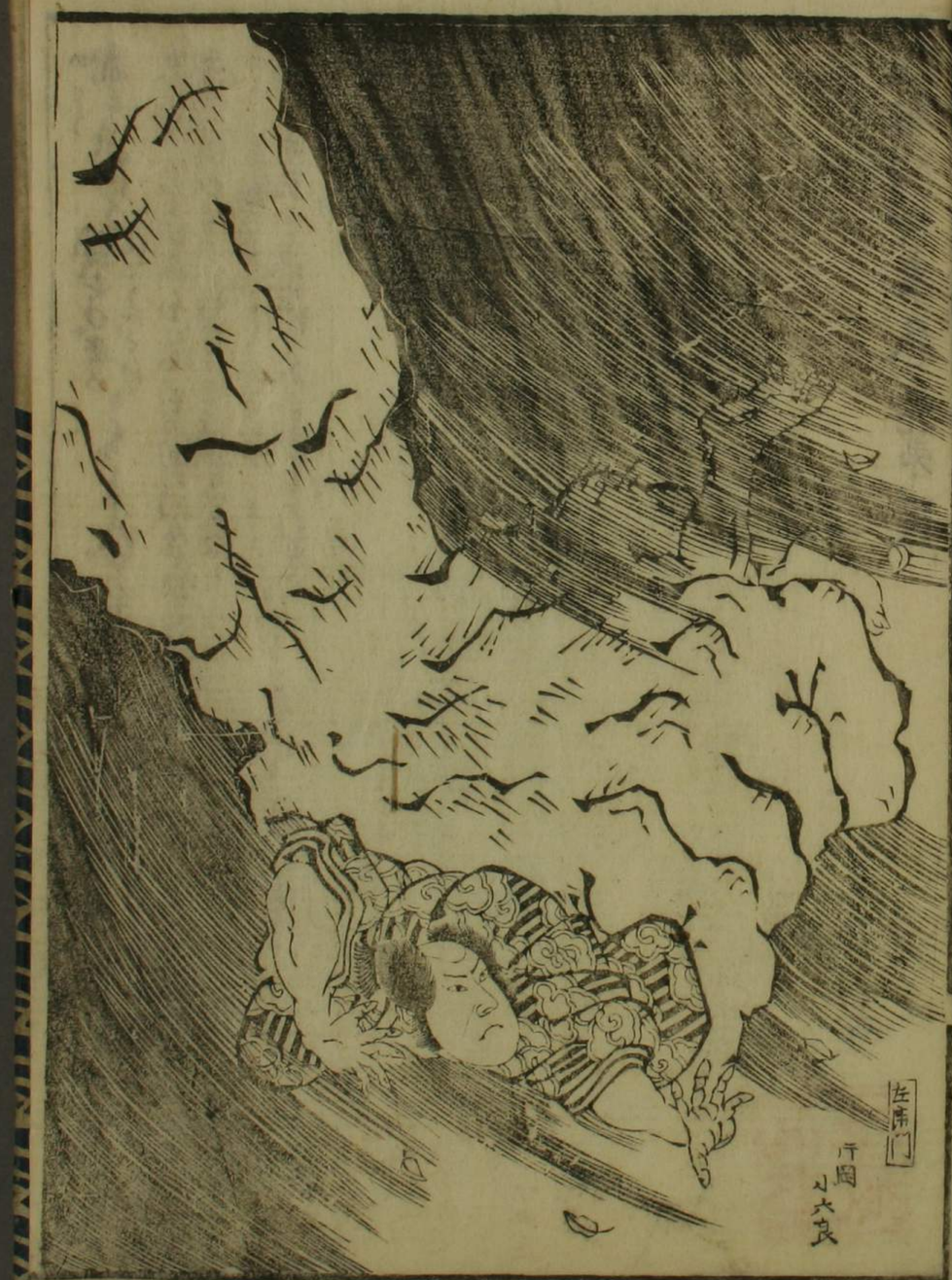
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

春重安也み
源蔵ゞ
丸を
とゞむ
江田源蔵
小川吉太良


左南門
行國 小六良

和布刈神事卷之第一終

高埜所藏